



## 国際がん登録学会 2010 年次大会 (IACR 2010) の日本誘致について

岡本 直幸

地域がん登録全国協議会理事長

日頃より地域がん登録全国協議会へのご協力・ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。本協議会も 1992 年の設立以来はや 15 年が経過し、先輩諸兄姉の地道な活動の積み重ねによって少しずつ「地域がん登録」が市民権を得つつあるように思われます。また、がん医療の均てん化政策やがん対策基本法に代表されますように、「地域がん登録」自体が脚光を浴びる状況となってきましたことは、喜ばしさとともに改めて襟を正さねばならないと再認識しております。

このようなわが国のがん対策の大きなうねりの中、昨年 (2007 年) の 9 月 18-20 日にスロベニアの首都リュブリャナでの第 29 回国際がん登録学会 (IACR2007) におきまして、2010 年の第 32 回の開催候補地として日本が選ばれました。第 30 回はオーストラリア、第 31 回は米国が予定されています。この国際学会は五大大陸を順に回っており、最近のアジア地域は 2004 年に中国で第 26 回の大会が開催されました。

わが国が指名された経緯ですが、IACR2007 前に IACR アジア地区代表の早田理事のもとへ理事会の案内と議事予定が配布され、「2010 年のアジア開催の候補地として韓国、日本がノミネートされている」ということをお聞きし、IACR2007 へ参加予定の有志によって、急遽、日本誘致の資料が作成されました。この段階で、日本での開催は 1984 年の福岡での第 6 回大会 (会長: 重松峻夫先生) に引き続き 2 回目であるので、もし韓国が立候補するようであれば日本は降りる旨を確認してスロベニアへ参りました。ところが、韓国からの立候補は無く、日本のみの立候補で、誘致の資料 (国がんの松田智大先生、丸亀知美先生が準備) が十分であり、松田先生のプレゼンテーションが素晴らしかったこともあったのかすんなりと日本での開催が決まってしまいました。決まった以上は協力して頑張ろう、というのが IACR2007 へ参加し

賛助団体 (2008 年 2 月 1 日現在 22 団体 敬称略、順不同)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| (財)日本対がん協会       | (財)大阪対ガン協会    |
| 明治安田生命保険相互会社     | 第一生命保険相互会社    |
| アメリカンファミリー生命保険会社 |               |
| (財)大同生命厚生事業団     | 日本生命保険相互会社    |
| 三共株式会社           | アストラゼネカ株式会社   |
| 富士レビオ株式会社        | 大鵬薬品工業株式会社    |
| 伏見製薬株式会社         | 堀井薬品工業株式会社    |
| ワイズ株式会社          | シェリング・プラウ株式会社 |
| 大塚製薬株式会社         | 株式会社ヤクルト本社    |
| 中外製薬株式会社 (本社)    | 大日本住友製薬株式会社   |
| ノバルティスファーマ株式会社   |               |
| グラクソ・スミスクライン株式会社 |               |
| 株式会社ウイッツ         |               |

た皆様の気持ちでしたが (既に数人の先生方に指摘を受けていましたが)、何処の誰がこの国際がん登録学会を、責任を持って受託するのが議論されていませんでした。協議会が受け皿になれば良い、とのご意見もありましたが、協議会は実体がなく不安定であるというご指摘も受け、大いに悩まされました。

幸い、IACR2010 の組織委員長を祖父江友孝先生が、事務局を味木和喜子先生、松田智大先生、丸亀知美先生がお引き受け下さることとなり、確固とした受け皿が整いました。また、学会長は、IACR の事情に詳しい元顧問の藤本伊三郎先生、顧問の花井彩先生、大島明先生、理事の早田みどり先生、事務局の皆様のご意見をお伺いし、この国際学会はわが国の地域がん登録の今後の流れを決めかねないほど重要であるという認識と、厚生労働省の関与を期待するという観点から、祖父江先生の並々ならぬご尽力によって国立がんセンター総長であるとともに、本協議会の顧問をお願いしている廣橋説雄先生が第 32 回の会長をお引き受けくださることになりました。

目 次	
IACR2010 日本誘致 .....	1 高野昭先生を偲んで..... 7
賛助団体紹介.....	1 第 29 回 IACR に参加して... 8
IACR 福岡の反省.....	2 第 16 回総会研究会報告..... 10
5 大陸のがん罹患 9 巻.....	3 第 17 回総会研究会案内..... 11
事務局報告.....	5 編集後記 .....
登録室便り (岩手) .....	6 関連学会一覧..... 12